



富士学校 AASAM訓練隊



Australian Army Skill At Arms Meeting 16



「日本の抑止力」

豪州射撃競技会に参加し、陸上自衛隊全体の射撃練度の向上を図るとともに、射撃に関する教訓、特に訓練基準等の見直し及び装備品(小銃等)の改善の資を得る。あわせて、豪州との関係強化を図る。

「AASAM実施目的」

豪州射撃競技会に参加し、陸上自衛隊全体の射撃練度の向上を図るとともに、射撃に関する教訓、特に訓練基準等の見直し及び装備品(小銃等)の改善の資を得る。あわせて、豪州との関係強化を図る。

陸上自衛隊富士学校(学校長徳田陸将)は、平成28年度豪州射撃競技会「AASAM16」の担任官を命ぜられ、宮武3佐(普通科部)を訓練隊長としてオーストラリア陸軍主催の射撃競技会に参加し、狙撃の部第一位を含む、全部門過去最高の成績で終了した。競技会に勝つことだけを目的として、特定の選手で参加してくる上位国の中で、陸上自衛隊全体の射撃技術を向上させることを目的とし、各方面隊から前年度とは違う選手を選抜・育成してからの本成績は大健闘と言える。

- ・狙撃の部第1位(12カ国18コチームが参加、前回3位)
- ・小銃の部第5位(18カ国20コチームが参加、前回8位)
- ・機関銃総合の部第5位(16ヶ国18コチームが参加、前回7位)
- ・拳銃総合の部第6位(15ヶ国17コチームが参加、前回7位)
- ・小火器総合の部第6位(18ヶ国20コチームが参加、前回6位)

AASAM16 過去最高の成績でマッチアウト

AASAM16の軌跡



1月6日 編成完結 各方面隊から選抜された53名が富士学校に集結



酷寒の東富士で繰り返された射撃練成



2月上旬 1次選考会により32名を選抜



3月中旬 2次選考会により19名を選抜



国内においてプレAASAMを実施



岩田陸上幕僚長の激励を受け、出国

全ては、部隊のために。仲間意識・帰属意識のあるAASAM 戦士達は、教訓を収集しつつ世界一を目指す。



『日の丸を背負い、世界と戦う、崇高で遣り甲斐のある任務』
実力を見せつけられればリスペクトされる。「抑止力」構築の外交の場



最高のチームで得たAASAM16の成果、帰国後、岩田陸上幕僚長に「狙撃世界一」を報告、まさに陸上自衛隊代表・オールジャパンでの戦いであったことを実感

